

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2021年4月1日から2021年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 45,636 | 40,239 |
| 受取手形及び売掛金 | 103,773 | 86,969 |
| 電子記録債権 | 4,621 | 5,043 |
| 有価証券 | 302 | 290 |
| 商品及び製品 | 29,727 | 39,323 |
| 仕掛品 | 1,280 | 1,643 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,940 | 9,019 |
| その他 | 9,921 | 10,525 |
| 貸倒引当金 | △2,024 | △1,220 |
| 流動資産合計 | 200,179 | 191,834 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 7,021 | 6,750 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 4,642 | 5,006 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,378 | 1,321 |
| 土地 | 5,074 | 5,074 |
| 建設仮勘定 | 107 | 75 |
| 有形固定資産合計 | 18,225 | 18,229 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 209 | 180 |
| ソフトウェア | 2,338 | 2,816 |
| その他 | 62 | 56 |
| 無形固定資産合計 | 2,609 | 3,053 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,771 | 11,007 |
| 繰延税金資産 | 2,252 | 1,758 |
| 差入保証金 | 931 | 897 |
| 保険積立金 | 910 | 911 |
| その他 | 1,629 | 2,417 |
| 貸倒引当金 | △504 | △1,290 |
| 投資その他の資産合計 | 15,990 | 15,701 |
| 固定資産合計 | 36,825 | 36,984 |
| 資産合計 | 237,004 | 228,819 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 79,854 | 70,874 |
| 短期借入金 | 10,800 | 12,760 |
| 未払費用 | 5,957 | 5,229 |
| 未払法人税等 | 2,136 | 822 |
| 役員賞与引当金 | 126 | 13 |
| その他 | 9,642 | 8,639 |
| 流動負債合計 | 108,517 | 98,339 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 25,166 | 25,158 |
| 繰延税金負債 | 1,685 | 1,866 |
| 役員退職慰労引当金 | 106 | 111 |
| 退職給付に係る負債 | 2,272 | 2,274 |
| 資産除去債務 | 343 | 344 |
| その他 | 3,850 | 3,644 |
| 固定負債合計 | 33,424 | 33,398 |
| 負債合計 | 141,942 | 131,738 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 12,133 | 12,133 |
| 資本剰余金 | 14,327 | 14,327 |
| 利益剰余金 | 64,568 | 66,074 |
| 自己株式 | △1,984 | △1,984 |
| 株主資本合計 | 89,045 | 90,551 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,378 | 1,275 |
| 繰延ヘッジ損益 | 50 | 14 |
| 為替換算調整勘定 | 470 | 1,074 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 21 | 25 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,921 | 2,391 |
| 非支配株主持分 | 4,095 | 4,138 |
| 純資産合計 | 95,062 | 97,081 |
| 負債純資産合計 | 237,004 | 228,819 |

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 84,130 | 105,949 |
| 売上原価 | 74,132 | 92,398 |
| 売上総利益 | 9,997 | 13,550 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,341 | 9,098 |
| 営業利益 | 1,656 | 4,452 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 29 | 28 |
| 受取配当金 | 74 | 63 |
| 為替差益 | — | 106 |
| 受取手数料 | 50 | 60 |
| その他 | 142 | 137 |
| 営業外収益合計 | 296 | 394 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 68 | 74 |
| 持分法による投資損失 | 150 | 171 |
| 為替差損 | 184 | — |
| その他 | 15 | 34 |
| 営業外費用合計 | 419 | 280 |
| 経常利益 | 1,533 | 4,566 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 投資有価証券売却益 | 39 | 9 |
| 負ののれん発生益 | 7,963 | — |
| 事業譲渡益 | 7 | 7 |
| その他 | 2 | — |
| 特別利益合計 | 8,012 | 16 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 31 |
| 固定資産除却損 | 12 | 6 |
| 投資有価証券評価損 | 421 | 6 |
| 関係会社清算損 | — | 109 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 281 |
| その他 | 45 | 18 |
| 特別損失合計 | 480 | 454 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 9,066 | 4,129 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 292 | 478 |
| 法人税等調整額 | 177 | 741 |
| 法人税等合計 | 470 | 1,220 |
| 四半期純利益 | 8,596 | 2,908 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 8,598 | 2,872 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △2 | 36 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 534 | △104 |
| 繰延ヘッジ損益 | △14 | △36 |
| 為替換算調整勘定 | △42 | 567 |
| 退職給付に係る調整額 | 7 | 4 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 67 | 44 |
| その他の包括利益合計 | 552 | 475 |
| 四半期包括利益 | 9,148 | 3,383 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 9,154 | 3,341 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △6 | 42 |

【注記事項】

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転したと判断した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、顧客との約束が財またはサービスを他の当事者によって提供されるように手配する履行義務である場合には、代理人として純額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、従来の方と比べて、当第1四半期連結累計期間の売上高が1,577百万円減少しております。営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大にともなう会計上の見積りについて)

固定資産の減損および繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りにつきましては、当第1四半期連結会計期間末日現在で入手可能な情報に基づき実施しており、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社および一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行およびグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」

(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」

(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産および繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|-----------------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 融資斡旋制度による当社従業員の金融機関からの借入等に対する保証債務 | 12百万円 | 9百万円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 635百万円 | 758百万円 |
| のれんの償却額 | 28 | 28 |

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|------------------|------------|------------|-------|
| 2020年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 1,098 | 40 | 2020年3月31日 | 2020年6月29日 | 利益剰余金 |

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|------------------|------------|------------|-------|
| 2021年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 1,373 | 50 | 2021年3月31日 | 2021年6月30日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|------------|--------------|-----------|--------|--------------|--|
| | 電子部品 事業 | 情報機器 事業 | ソフトウェア 事業 | その他 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 68,196 | 12,537 | 491 | 2,904 | 84,130 | - | 84,130 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 615 | 1,072 | 125 | 874 | 2,687 | △2,687 | - |
| 計 | 68,811 | 13,610 | 617 | 3,778 | 86,817 | △2,687 | 84,130 |
| セグメント利益又は 損失 (△) | 1,185 | 583 | △44 | △101 | 1,622 | 33 | 1,656 |

(注) 1. セグメント利益の調整額33百万円には、セグメント間取引消去33百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

電子部品事業において、7,963百万円の負ののれん発生益を計上しております。これは当社が2020年4月1日付でエクセルの株式を取得した際に発生したものであります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2 |
|-----------------------|------------|------------|--------------|-----------|---------|-------------|---|
| | 電子部品 事業 | 情報機器 事業 | ソフトウェア 事業 | その他 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 90,624 | 10,636 | 568 | 4,120 | 105,949 | — | 105,949 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 949 | 1,171 | 49 | 1,547 | 3,718 | △3,718 | — |
| 計 | 91,573 | 11,807 | 617 | 5,668 | 109,667 | △3,718 | 105,949 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 3,699 | 568 | △67 | 217 | 4,418 | 33 | 4,452 |

(注) 1. セグメント利益の調整額33百万円には、セグメント間取引消去33百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の見直し

2020年4月1日に行われた株式会社エクセルとの企業結合について、前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末において確定しております。取得原価の配分の見直しが反映され、暫定的に算定された負ののれん発生益の金額8,007百万円は会計処理の確定により44百万円減少し、7,963百万円となりました。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益および親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ44百万円減少しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年6月30日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-------------------|------------|------------|--------------|-----------|---------|
| | 電子部品 事業 | 情報機器 事業 | ソフトウェア 事業 | その他 事業 | |
| 売上高 | | | | | |
| 日本 | 39,858 | 10,633 | 568 | 3,931 | 54,991 |
| 北米 | 7,452 | — | — | 1 | 7,454 |
| 欧州 | 3,907 | — | — | 7 | 3,915 |
| アジア | 39,392 | — | — | 64 | 39,457 |
| 顧客との契約から生じる収 益 | 90,610 | 10,633 | 568 | 4,006 | 105,818 |
| その他の収益 | 13 | 3 | — | 114 | 131 |
| 外部顧客への売上高 | 90,624 | 10,636 | 568 | 4,120 | 105,949 |

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) |
|------------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 313円15銭 | 104円55銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円) | 8,598 | 2,872 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(百万円) | 8,598 | 2,872 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 27,458,812 | 27,472,177 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、2021年8月5日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することおよびその具体的な取得方法について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたしました。なお、2021年8月6日の取得をもちまして、上記決議に基づく自己株式の取得は終了いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

2. 自己株式の取得に関する取締役会決議内容

- (1) 取得する株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得する株式の総数 1,300,000株(上限)
- (3) 株式の取得価額の総額 3,877,900,000円(上限)
- (4) 取得日 2021年8月6日
- (5) 取得の方法 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付けの委託を行い、当該買付注文は当該取引時間限りの注文とし、その他の取引制度や取引時間への変更は行わない。

3. 自己株式の取得結果

- (1) 取得した株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得した株式の総数 1,231,700株
- (3) 株式の取得価額の総額 3,674,161,100円
- (4) 取得日 2021年8月6日
- (5) 取得方法 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け。

2【その他】

該当事項はありません。